

令和元年度事業報告

シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」のもと、会員が豊富な経験と知識、技能を生かしながら健康を保ち喜びと生きがいをもって、地域社会に参加し、貢献してまいりましたが、会員の高齢化、独自事業の拡大等、多くの課題をかかえている状況が続いております。

この状況を打開するために新会員の加入と就業機会の拡大を最重点目標に掲げ、シルバー事業の普及を図るための啓発活動を積極的に実施しました結果、会員数については昨年度に続き前年度を上回ることが出来ました。

また、高齢者が生涯現役で活躍し続けられるよう就業機会の提供と確保にも努めましたが、一部公共事業の契約終了や新型コロナウイルスの影響による業務の減少により、契約金額が前年度を下回る結果となりました。

このことから、今後においては、就業機会の拡大を図るとともに、会員の増加についてはセンターの活性化を図るうえで必要不可欠であることから、引き続き最重要課題として取り組んでまいります。

1 事業の普及啓発

- (1) センターの機関紙「シルバーだより」を8月と1月の年2回市広報紙に折込み市内全世帯に配布し、センターの普及啓発に努めました。
- (2) 市広報「北名古屋」、地域情報誌「北名古屋市民タイムズ」に、会員募集、総会及びシルバーの日・互助会フェスティバルなどの情報を提供し、センター事業の普及啓発に努めました。
- (3) 10月のシルバー会員・就業拡大強化月間においては、啓発看板やマグネットシート等により会員募集と就業開拓に努めました。
- (4) 10月の事業普及啓発促進月間においては、関係団体、事業所等を訪問し、事業内容の啓発に努めました。
- (5) 11月3日の「商工祭」及び11月23日の「ふれあいフェスタ2019」等において、女性部会の手作り作品、木工部会の木工製品及びふれあい農園部会の農作物を販売するとともに、シルバーの相談窓口を開設し、シルバーへの入会、仕事の受付等の普及啓発に努めました。
- (6) センターのホームページを随時更新し、シルバーの啓発に努めました。
- (7) 北名古屋市循環バス車内及び公共施設に会員募集ポスターを掲出し、会

員の拡大に努めました。

2 組織の状況

- (1) 令和元年度は、入会者 46 名、退会者 45 名（うち物故者 5 名）で、年度末会員数は 738 名となり、昨年度より 1 名増（前年度比 0.14%増）となりました。これは、新会員紹介カード及びゴールド会員制度、会員互助会の運営等による入会促進及び退会抑制が影響したと思われます。また、退会された会員の内、病気・高齢の理由で退会された会員は約半数（44.4%）を占めました。
- (2) 入会説明会を、年間 11 回（毎月第 3 水曜日、令和 2 年 3 月除く）開催し、シルバー人材センターの役割、仕組み、安全就業、就業基準等について説明するとともに、理事等 2 名が参加し、先輩会員としての経験談等を話し、入会促進を図りました。
- (3) 社会福祉協議会、市老人クラブ連合会などの団体に働きかけ入会案内や事業協力を進めました。

3 事業実績

- (1) 事業の契約金額は、3 億 1,256 万円で、前年度に比べ 2,359 万円減（7.0%減）、また、配分金の総額では、2 億 5,696 万円で、前年度より 1,960 万円減（7.1%減）となりました。
年間就業延人員は、8 万 2,517 名で、前年度より 4,572 名減（5.2%減）となりました。

区分 年度	契約金額 (万円)	配分金収入 (万円)				年間就業 延人員 (人)
		事業所	公共	一般家庭	独自事業	
令和元年度	31,256	7,880	11,480	5,935	399	82,517
平成 30 年度	33,615	8,619	12,073	6,462	502	87,089
増 減	△2,359	△739	△593	△527	△103	△4,572
前年増減比	△7.0%	△8.6%	△4.9%	△8.2%	△20.5%	△5.2%

- (2) 愛知県シルバー人材センター連合会北名古屋市事務所としての一般労

働者派遣事業の契約金額は、1,852 万円で、前年度に比べ 131 万円増（7.6%増）、また、会員賃金の総額では、1,449 万円で、前年度に比べ 76 万円増（5.5%増）となりました。

年間労働者延人員は、414 名で、前年度より 31 名増（8.1%増）となりました。

- (3) 独自事業の木工部会は、手作りの木工製品を市主催のイベント等で販売するとともに、注文による作製販売も行いました。

また、女性部会は、活動拠点のふれあいの家で、布製の小物等を作成し、木工部会とともに、イベント等に参加して展示販売を行いました。

ふれあい農園部会は、各種農作物の生産を行い、市民の皆さんに販売するとともに、イベントに参加して地産地消とシルバーの普及啓発に貢献しました。

高齢者生活支援部会は、独り暮らしの高齢者等に対する生活の手助けを行うとともに、喫茶あけぼのを営業し、憩いの場の提供をいたしました。

4 安全・健康管理

- (1) 7月・1月の安全就業強化月間には、安全意識の高揚を図る看板を掲出するとともに、5月・7月・12月には就業現場の安全パトロールを実施し、就業中の事故に対する注意喚起を呼びかけました。
- (2) 安全就業と事故防止を図るため、6月、会員から安全標語を募集し、優秀作品を発表するとともに、毎月発行の「シルバーニュース」に事故防止の喚起記事を掲載するなど啓発に努めました。
- (3) 11月に草刈機の操作方法及び危険防止の講習会を本部において開催しました。
- (4) 事故の発生状況については、傷害事故3件、損害賠償事故3件で、前年度と比べ傷害事故1件、損害賠償事故1件増加しました。

5 シルバーの日及び互助会フェスティバル

10月19日に「シルバーの日・互助会フェスティバル」を開催し、会員の表彰伝達後、アトラクションとして各クラブの舞台発表、作品展示、浪曲口演及び歌謡ショーを行い、会員相互の親睦、交流を図るとともに、市民にも参加していただき、センターの啓発を行いました。

6 福利厚生等

3月開催の各地域班長が招集する地域班会議は、新型コロナウイルスの影響で公共施設が閉館となり、書面通知等により対応しました。

また、就業中における熱中症等の健康管理を呼びかけました。

7 社会奉仕活動

5月の市ごみゼロ運動、10月の合瀬川清掃活動等に参加しました。

以下、会員状況、事業実績、事故状況等については、別表のとおりです。